



## 未来に残せるものは何？

### 受け継がれるひまわりの種

今後のグループの取り組みについて、新保さんにお聞きしました。「今年も大通公園でのソーラーイルミネーションを行う予定です。そして、このソーラーイルミネーション一式を環境保全の活動に取り込む団体に貸し出す予定もあります。貸し出すことによって、より多くの人たちにメッセージを伝えるためです。」

また、将来の希望としては活動の成果を生かした公園づくりを試みたいと思います。「エコパーク」のようなイメージで、イルミネーションはもちろん、ソーラービオトープも設置し、誰もが親しめる施設づくりが実現できればと

考えています。それと、同じように環境保全に取り組んでいる人たちやグループと積極的に交流していきたいですね。お互いが環境保全に係る情報を持ち寄って、新しい取り組みを考えていきたいです。もちろん、この会でも新メンバーを募集中ですよ」と新保さん。

「札幌、そして手稲は自然と都会の雰囲気が高く調和した、素晴らしい街だと思います。しかし、いつまでもこの素晴らしい環境が約束されているわけではありません。ゴミ減量や省エネなど、身近な取り組みから始めてみましょう。無関心でいることが一番の問題です。将来の活動に向けて希望を持ちつつも、「このままではいけない」という危機感ものぞかせる新保さんでした。」



◀ 太陽光と風力の発電システム。(前に立つのは新保さんご家族、元規さんと里佳さん)

### 大通公園の夜空に輝くソーラーイルミネーション

自然の力がともした美しいイルミネーション



## 今年も開催！「環境と交通を考える広場」

家族連れなどでにぎわいを見せる会場

手稲区では今年も省資源・省エネルギー・環境保全を市民と共に考えるための催し「環境と交通を考える広場」を7月6日に行いました。

会場となった手稲区役所駐車場（前田1条11丁目）には、環境負荷の少ない低公害車の展示やダンボールコンポスト処理箱の講習会、フリーマーケットといったコーナーが設けられ、多くの区民で大盛況。

また、手稲駅自由通路「あいくる」では環境保全パネル展も同時に行われ、地球温暖化や大気汚染の状況などが展示されました。



環境保全パネル展。小学生が真剣にお勉強

◀ 展示車両。手前は天然ガス車、奥はハイブリッドカー（電気とガソリンを使って走る車）

札幌市内では「ひまわりの種の会」のほかにも多くの市民グループやNPO法人などが、さまざまなかたちで環境問題に取り組んでいます。これからは市民と企業、そして行政が共に手を取り合い、環境保全に向けて取り組んでいく時代。まずは自分自身の身近な環境に関心を持ち、美しいふるさとを次世代の子どもたちに残してあげるため、何が自分にできるのか考えてみましょう。「百里の道も一歩から」で

